

進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

〔2022 年度入試③ 私立大学〕

用語の説明をします。A, B, C 君がのべ 12 の大学を受験した結果が右表であったとします。総受験数 12, 総合格数 5 で合格率 42%, 実受験者 3, 実合格者 2 で実合格率は 67%になります。

大学	P 大	Q 大	R 大	S 大
A 君	×	○	○	○
B 君	×	×	×	×
C 君	○	×	×	○

国公立大学は推薦まで含めても最大 4 大学までしか受験できませんが、私立大学は複数受験が可能のため、一人の人が同一大学を複数受験することが多いです。48 回生は、私立大学を一人あたり平均 5.5 校受験しています。一人で 16 もの合格を勝ちとった人がいる一方、私立大学を全く受験しない人もいます。下表では、一般選抜とそれ以外（「推薦等」と表記しています）に分けて集計しています。国公立大学の受験・合格状況については前号で紹介しているので、今回は私立大学の方を見てください。

一般入試を見ます。実合格率は 87% と大変高率で、ここ数年では最高です。また、私立大学への進学率が 55% あります。私学を受験した人は、半数以上が合格先のどこかへ進学していることになります。表の中には第 1 志望が私立大学ではなく、併願の人も多数含まれていますから、第 1 志望が国公立大学であっても、私学を受験した場合は、自分がその大学の学生になる可能性は十分高いということになります。併願先はこのことを念頭に置いて考えてください。

48 回生	国公立大学		私立大学	
	一般	推薦等	一般	推薦等
① 総受験数	166	25	1090	190
② 総合格数	81	13	583	108
③ 実受験者数	139	25	161	73
④ 実合格者数	79	13	140	56
⑤ 進学者数	73	13	88	20
合格率 (②/①)	49%	52%	53%	57%
実合格率(④/③)	57%	52%	87%	77%
進学率 (⑤/③)	53%	52%	55%	27%
? (②/④)	1.0	1.0	4.2	1.9

複数受験の機会を作ることができる私学の実験は、このように国公立とは少し様相がかわってきます。

次に推薦入試を見ます。前号でもお知らせしたとおり、48 回生は国公立推薦ではものすごく健闘しました。一方、私立大学では推薦の実合格率は一般の実合格率には及びません。進学率も 27% と低く、これは 47 回生の半分です。48 回生では私学の推薦は「押さえ」の受験に使い、一般入試で本来の志望校に合格した人が多かったことがうかがえます。国公立で後期まで頑張るのと同様、押さえに合格しても気を抜かないことが大事です。国公立・私立を問わず、志望校合格への王道は 2 月、3 月まで粘って学習を続けることと、第 1 志望の大学については、私立では共通テスト利用出願も見据えて含めて、しっかりと幅広い学力を養っておくことです。このことは入試をとりまく状況が少々変化しても変わりません。

表の最下欄「？」は何を意味するでしょう。これは「合格者」が一人平均何校に合格しているかを示しています。国公立は原則一人 1 校しか合格できませんが私立は違います。受験数が平均 5.5 校なのに合格者は一人で平均 4.2 校に受かっているということです。すごいですね。しかし一方でどこにも合格しない人が 21 名いたということですから現実には厳しいです。

